

平成26年度 西東京市立 泉小学校 学校自己評価表

	具体的方策	第 1 回 (10月24日)				第 2 回 (2月26日)			
		学校自己評価		学校関係者評価	学校自己評価		学校関係者評価		
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標			
確かな学力の向上	習熟タイムの設定等の習熟方法を工夫し、年間4回、漢字と計算についての定着率を診断テストで調査する。	4	漢字 2 計算 3	どの学級でも朝の時間は漢字練習と計算練習の習熟の時間として活用している。計算は学年が進むにつれて、少しずつ苦手が増えてきているようである。低学年ではほぼできてきているので、小数や分数でも定着が図れるように工夫したい。漢字は中学年で少し下がり、抽象的な意味の漢字が増え、数も多くなってくる中学年で効率的な学習法と定着を図りたい。	3	漢字 3 計算 2	泉小は朝の時間を利用して、漢字や計算技能の習熟の時間に充てている。低学年と高学年で計算に関してはよくできていたが、算数に苦手な生じやすい4年生で低く出た。実際に実施している学習内容に沿った問題で自信を持って取り組ませる必要があるかもしれない。計算も漢字も家庭学習と連携して効果をあげているが、苦手な子がある程度であるので、その子たちに基本的な学力を付ける工夫が必要である。	3	
	授業づくりスタンダードの項目をもとに授業づくりの工夫を継続して行い、年間3回、児童の意識調査を実施して意欲の高まりを把握する。	4	4	意欲をもって自分から学習する態度、学校生活に溶け込みながら楽しく授業に参加しているとか肯定的な回答をした児童が、いずれも84パーセントあった。意識調査の結果は非常に良好であった。しかし、授業が分からないと答えた児童も約5パーセントあるので、全員が満足できるように工夫した授業を進めていきたい。	4	4	自力解決3 家庭学習2 学習意欲3 学習準備4	学習スタンダードに基づいた学習の準備はしっかりできている。授業に意欲を持って参加している児童、興味を持って日々を過ごしている児童は80%におよび、学校での学習を有意義に送っている児童が多いが、そうでない児童も依然としている。また、宿題はどのクラスでも毎日出しているが、それ以外に家庭学習をしていないという児童が30%あり、目的を持って自分のために学習する児童を育てていく必要がある。	4
	読書カード等を工夫し、読書に対する興味、関心をもち、読書量調査を年間3回実施する。	4	4	読書量を増やすために、全学年での金曜日の朝読書、2年生以上における先読みの記録に取り組みでいる。また、発達段階に応じた、学校図書館専門員と密に連携して国語を中心とした授業に関する図書を教室に配置することで読書量の向上と学力向上を関連させたり、少しの時間でも読書ができるように常に身近に本を持たせたりすることで、意欲向上につなげている。	4	4	4	全体的に読書量の増加が見られた。特に、1年生については一人あたりの平均完読冊数が7月の7.9冊から1月には48.6冊になっている。冊数については、高学年ほど厚い本を読む傾向があるため、一概に比較することはできないが、個人内での評価としては十分目標を達成したと言える。今後も、読書の時間の確保と、学習活動と図書館との連携を進めることで、いっそうの成果が期待できる。	4
豊かな心の育成	道徳の時間に重点項目について学期2回以上指導し、年間3回、道徳的判断力が高まったかを調査する。	4	4	どの学級も道徳的意識が高まった。特に「友達となかよく話したり、遊んだりしている。」という質問に対して97%の児童が肯定的な答えをしている。しかし、「廊下などですれちがったときに進んであいさつをしている。」という質問では約30%の児童が「思わない。」と答えており、改善する必要がある。あいさつ週間やあいさつカードの取り組みを継続しつつ、日々教員がお手本となるような挨拶をする。	4	4	3	前問と同様「友だちとなかよく話したり、遊んだりしている。」という質問に97%の児童が肯定的な答えをしており、継続していることがわかる。他にも、「人が困っているときは、進んでたすけてあげる。」86%、「児童会や学校行事などにおいて、学校の一人としての役割や責任をしっかりと果たしている。」82%の児童が肯定的な答えをしており、道徳的な意識が高いことが見受けられる。しかし「廊下などですれちがったときに進んであいさつをしている。」という質問では、67%が肯定的な答えと前問同様低いことがわかった。低学年は90%肯定的な答えなので、3年生から上の学年になると、低くなっていくことが分かる。あいさつ週間やあいさつカードの取り組みを継続しつつ、日々教員がお手本となるような挨拶する姿を見せる必要がある。	4
	特別活動等を通して異学年と関わる場を多く設定し、年間3回、児童の意識調査を実施する。	4	4	縦割り班活動を通じて、班の子供たちが関わり合いながら、男女関係なく話したり運動したりしている。また、計画なども下学年の遊びたい種目などを聞きながら企画に生かしている班が多くある。また、休み時間には高学年が下学年に話しかけたり、下学年が高学年と一緒に遊んだりしながら異学年と関わる場が増えてきている。	4	4	3	縦割り活動を通じて、班の子供たちが関わり合いながら、男女関係なく話したり運動したりしていた。また、計画なども下学年の遊びたい種目などを聞きながら企画に生かしている班が多くあった。しかし、普段の休み時間においては、他の学年の人と話したり、遊んでいる児童の割合がアンケートでも52.5%が遊んでいると、若干少ない傾向にあった。今後、高学年は下学年のお世話ができるように下学年は高学年をお手本にできるような関係づくりをしていけるよう、声をかけていく。	4
健やかな体の育成	体育集会等を実施し、体力の向上を図る。年度当初の体力テストで重点種目を決定し、学期ごとに重点種目の体力テストで実態を調査する。	4	4	運動会に向けて、各学年体力の向上に努めた。個人の体力に関しては、向上の度合いに差はあるが、学校全体としてはどの種目においても向上傾向にある。今後さらに行事だけでなく、日常においても休み時間の外遊びの励行をしたり、各学年での課題種目に応じた運動の取り組みを提示していく。	4	4	4	昨年度の体力テストの結果から今年度は8種目中、6種目が平均を大幅に更新できていた。また、自分自身で、課題の種目を明らかにして、2学期にその種目だけ測定した結果、全体の65%の児童が記録を更新できた。なわとび大会や走ろう大会の練習では、中休みに全児童が校庭に出て、一生懸命練習する姿が見られ、体力向上に向けて意欲が高められている。今後も外遊びを励行できるように先生方も協力したり、友達同士で遊ぶ機会を増やしたりしていく。	4
	主任養護教諭の指導のもと、保健指導の場を昨年度より増加し、保健指導の充実を図り、また、栄養士と連携し食育指導を行い、年間3回、児童の健康に関する意識調査を行う。	4	4	健康に対する関心を高め、意識の定着を図るために、特に朝食・睡眠・運動・心の健康を中心に取り組みを行っている。前年度1学期の意識調査に比べおおよね意識しているという質問に対しては、前年度より増加している。睡眠に関して就寝時間が決まっていなかった児童の割合が高いため生活リズムを中心に継続して保健学習指導を行っている。	4	4	2	健康診断時や学校行事に伴う事前指導などで生活習慣の大切さについて指導をし、毎月毎に保健目標に沿って学級指導を実施した。1学期に比べ、起きる時間を決めている児童が全体で1%増えたほか、児童の生活の振りかえり評価が低くなっているが、朝食や睡眠、運動の取り組みを行ったと答えた児童が多く、自己の問題点を把握し改善していこうとする意欲が見られた。	3
地域と歩む学校	青少年育成会の行事に学校として積極的に参加充実させ、保護者アンケートの満足度を調査する。	4	2	育成会主催の夏祭りでは、教員も積極的にかかわり100%の参加率であった。その他の行事にも協力的である。しかし、「教師は地域の行事に参加したり、地域や保護者と連携している」という質問に対し、「よくあてはまる、少しあてはまる」と答えた保護者は67%であった。「あまりあてはまらない、あてはまらない」は6%「わからない」が26%である。今後は、行事や保護者会等だけでなく、日頃の連携も大切にしていきたい。	4	4	4	育成会主催のわくわくコンサートには全ての教員が参加し、まちフェス・わんぱくすまうなどの行事にも主任教諭や主幹教諭などが参加した。統合校や近隣校の学校行事にも、多くの教員が休日を返上して参加した。前期の集計では「積極的に参加している」と答えた教員は58%であったが、後期は86%に上がった。これは、行事の開催時期が前期にはあまりなかったためである。教員の意識は年度当初から高く地域・保護者と連携して教育活動を行おうとしていた。	4
	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、図書館だより等は月1回以上、学級だよりは月2回以上発行し、ホームページも充実を図り、保護者アンケートの満足度を調査する。	4	4	各種おたよりは定期的に発行して、学校の教育活動の取組を発信している。学級だよりについては、クラスにより発行枚数に差はあるものの、どの学級も学級だよりを通じて児童の学習や活動の様子を写真入りで具体的に伝えている。保護者の満足度も93%と高評価をいただいている。今後もより詳しくお伝えできるように、お便りやホームページの更なる充実を目指し工夫努力していく。	4	4	4	定期的なおたよりの発行については、前期は92%、後期は100%の教員が、きちんと行った。学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だよりは毎月欠かさず月初めに発行した。学級だよりについては教員によって発行枚数に個人差はあるが、どの教員も「写真を活用したお便り」を通じて学級の様子を家庭に知らせる努力をしていた。内容は今後さらに充実していきたい。	4